

【特別支援学校用】

令和2年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	令和2年度佐賀県立中原特別支援学校(本校)
-----	-----------------------

1 前年度 評価結果の概要	・新学習指導要領について理解を深め、効果的な授業のあり方や支援のあり方を研究し、職員の専門性の向上を図り個の課題に迫った授業の充実につなげていく。
------------------	---

2 学校教育目標	一人一人に応じた指導・支援をとおして、児童生徒がもっている能力や可能性を最大限に伸ばし、明るくすこやかで豊かな心もち、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。
----------	---

3 本年度の重点目標	① 個の課題に迫った授業の充実 ② 東部地区の特別支援教育のセンター的機能の充実と関係機関との関わりの充実 ③ 個に応じた進路指導の充実
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○確かな実態把握をベースに個別の指導計画に基づく指導・支援の充実を行い、児童生徒の学力の定着を図ることを目標とし、達成できたと回答する教職員、授業内容が身についたと回答する保護者が共に60%以上	・児童生徒の実態や保護者のニーズを把握し、一人一人に応じた適切な指導及び必要な支援を行う。 ・年間指導計画及び個別の指導計画を踏まえた授業づくりを行う。							
	○新学習指導要領に示されている各教科等の目標や内容を踏まえた授業実践	○新学習指導要領に示されている各教科等の目標や内容を踏まえた授業実践ができたことと回答する教職員が80%以上 ○学校で学んだことが身についたと回答する保護者が70%以上	・新学習指導要領に示されている目標や内容を意識できるような指導案の作成 ・全学で授業研究会や事例検討会、授業報告会を実施 ・目標設定の仕方や評価についての研修会の実施							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童会活動や関連する行事等において、「豊かな心」を育む教育の趣旨に基づいて授業を展開した教員7割以上	・人権・同和教育校内研修会の実施 ・小中高及び全課程の児童生徒の平等や共同、尊重の心を育む児童会活動の実践							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、共通理解のもと組織的な対応ができていると回答する教員7割以上、保護者7割以上	・いじめの認知・認知に関する基本方針確認の職員研修を実施。 ・職員アンケートを毎月実施、保護者アンケートを年2回実施。							
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や希望を持ち、将来の自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「児童生徒の希望や状況等に応じたキャリア教育及び職業教育ができて」と回答する保護者70%以上	・本人・保護者の希望やニーズを把握した研修や進路先見学、現場実習の実施 ・「卒業後の生活」を考えるために必要な情報の提供。							
	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・職員研修、給食試食会、食育講話等の実施。 ・食育だよりの発行							
●地域・体づくり	○感染症の予防、感染拡大防止	○本校独自の「感染症対策基本方針」を原則とする。 ○児童生徒及び職員が感染症に罹患した場合(疑わしき場合も含む)、その家族が罹患した場合も濃厚接触者として、登校及び出勤を停止する措置の徹底100%を目指す。 ○感染者の報告に対し、迅速かつ適切な連絡体制の強化を図る。	・予防及びその指導の徹底を計る。 ①マスクの着用②手洗い③手指及び共同物品の消毒④定期的な換気の呼びかけを繰り返し行い、保護者会及び職員会議等で、本校の感染症対策基本方針の周知を徹底する。 ・実際に罹患者が発生した場合を想定し、課題をあげ出して改善を図る。							
	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○地域の要請に応じて、校内の分掌部及び地域のエリアリーダーや専門家チームと連携しながら巡回相談を実施する。 ○各職員や分掌部の専門性や知見を巡回相談や地域連携研修会に活かす。 ○地域連携研修会参加や巡回相談の活用について適宜評価する。	・巡回相談の内容や今後の継続などについて、巡回相談員で打ち合わせを緊密にし検討を重ね関係機関等と連携する。 ・地域支援組織表を作成し、分掌部や日々の教育活動の中で蓄積される特別支援のノウハウや事例を関係職員と連携しながら整理する。 ・研修会や巡回相談について項目を工夫してアンケートを実施し分析活用する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○交流学習の充実	○学校行事やボランティア招致を通して地域の方々や児童生徒同士の交流の場を作り、相互理解を深める。	・交流演奏会、ナーミー活動、文化祭、親子レクリエーション等の学校行事を地域のコミュニティや学校と協力して計画実行する。 ・アンケートを実施し、次の交流活動に活かす。							
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・完全定時退勤日を年3回設定し実施する。 ・管理職より時間外労働の多い職員に対し、業務内容の確認と指導を行う。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○ICT利活用教育	○特別支援教育における、ICT機器を使った効果的な授業のあり方や支援の方法について研鑽し、授業作りや支援を行う。	○ICT機器を使った効果的な授業のあり方や支援の方法についての研鑽、授業作りや支援ができたことと回答が60%以上。	・全職員が年2回以上は校内外ICT利活用教育に関する研修会に参加し、知識・技能の向上を図る。 ・児童生徒一人一人の特性や能力に応じた利活用を行う。							
○学校防災計画の作成・検討	○学校保健安全法第29条に基づき児童生徒および学校職員の安全確保のため学校防災マニュアルを作成する。	○年度内に学校防災委員会(仮称)を2回以上開催し、作成・検討する。	次の2つの基本的マニュアルを作成 ・事前の危機管理マニュアル ・発生時の危機管理マニュアル							

5 総合評価・次年度への展望	●…共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ・ ・ ・
----------------	--------------------------------------